

市議会だより

第177号
2017年3月6日

～12月定例議会～

会期：平成28年12月6日～平成28年12月21日



▲第42回豊見城市新春マラソン(ウォーキング)大会

一般質問 (与那覇 清雄 議員・楚南 留美 議員) ……2P	一般質問 (宜保 安孝 議員・大田 善裕) ……11P
一般質問 (山川 仁 議員・仲田 政美 議員) ……3P	一般質問 (赤嶺 吉信 議員・赤嶺 一富 議員) ……12P
一般質問 (比嘉 綾 議員・當銘 清弘 議員) ……4P	平成28年第6回豊見城市議会定例会(11月議会)審議結果 ……13P
一般質問 (大城 敬理 議員・儀間 盛昭 議員) ……5P	平成28年第7回豊見城市議会定例会(12月議会)審議結果 ……13・14P
一般質問 (徳元 次人 議員・新垣 亜矢子 議員) ……6P	意見書・決議 ……15P
一般質問 (新垣 繁人 議員・大田 正樹 議員) ……7P	編集後記 ……15P
一般質問 (比嘉 彰 議員・佐事 安夫 議員) ……8P	議員定数について ……16P
一般質問 (比嘉 仁一 議員・外間 剛 議員) ……9P	
一般質問 (赤嶺 勝正 議員・瀬長 宏 議員) ……10P	

*詳しい内容についてはホームページをご覧ください。

3月定例会の予定

3月2日(木)	本会議【開会日】	3月14日(火)	一般質問 1日目
3月3日(金)		3月15日(水)	一般質問 2日目
)	常任委員会	3月16日(木)	一般質問 3日目
3月13日(月)		3月24日(金)	本会議【最終日】



一般質問

那覇空港自動車道の高架下の有効利用について



与那覇清雄 議員

問 那覇空港自動車道（高速道路）の高架下の有効利用について。

答 振興開発課長 利用が可能となる時期を見計らってどのような利用が有効か関係部署や管理する南部国道事



那覇空港自動車道の高架下

問 社会資本整備の充実について伺う。
答 都市計画部長 市道41号線の改良

務所との協議調整を行い周辺の土地利用改革及び整備の優先順位財源等を含め検討していきたい。

問 下水道使用料の請求漏れについて。

答 水道総務課長 前回の段階では請求総額が86万5千円余り、今回は107万3千円余りの請求となっております。納付額につきましては前回が76万8千500円余り、今回は92万6千569円となっております。毎月請求しておりますので、請求している分ずつ増えています。

整備や市道175号線の災害防除工事、金良、長堂地区の地方改善事業についても、引き続き整備に取り組んでまいります。公園事業では長嶺城址一帯の東部地区総合公園事業の補助事業の採択に向けて取り組んでいるところであり東部地区の活性化が促進されると考えます。

問 金良、長堂地域への下水道施設の布設について伺う。

答 下水道課長 下水道課といたしましては当面の間現在の

事業認可区域を優先的に整備する計画とし、ご質問の金良、長堂地域の下水道計画は今後の整備状況を見極めながら計画していきたいと考えています。

問 年金生活者等支援助臨時福祉給付金は。

答 福祉部長 簡素な給付措置の支給対象者のうち、障害基礎年金、遺族基礎年金を受給している者を対象とし支給額は1人3万円。

誰もが暮らしやすい地域づくりを！



楚南留美 議員

問 認知症サポーター養成講座の内容と実施状況について伺います。

答 福祉部長 研修時間はおおむね90分



認知症について正しい知識をもち地域で見守られる初期の対応体制が構築されることを目的とし、平成30年度から全ての市町村が実施することになっていきます。しかし本市において認知症サポート医の資格を有する専門医がいらないことから、認知症初期集中支援チームを設置することが困難な状況。そのため南部圏域の連絡会を発足したところです。他の先進自治体の状況を参考にしながら、早期設置に向けて取り組みたいです。

問 本市の認知症サポーター数と今後の目標について伺います。

答 福祉部長 認知症サポーター養成数は、平成28年3月末で1千627人、平成29年度までに認知症サポーター目標数を約2千400人としています。

問 平成30年から全ての市町村に認知症初期集中支援チームの設置を求めています。その内容と平成30年を待たずに設置する考えがなにか伺います。

答 福祉部長 認知症初期集中支援チームは、早期に認知症の診断が行われ、速やかに適切な医療、介護等を受け

問 我那覇ゲートポール場裏の市道には舗装段差があり、車両が通行するたびに車体をこする。対策が必要と考えられるが見解を伺います。

答 道路課長 舗装状況も極めて悪いことから早急な対応が必要と考えています。

豊崎小前の橋梁、H29年度中の開通を市民は熱望



山川 仁 議員

問

市道257号線（豊崎小学校前）、203号線（川沿い翁長側）の供用開始については、工事を平成29年度までには完了させていきたいと言

う見解か伺う。

答

経済建設部長

現在、鋭意用地交渉等を重ねていますが、現段階では平成29年度の



豊崎周辺の通走路や災害時の避難道路として

問

地を活かす新たな発想で街づくりを

鉄道・LRT

等新たな公共交通については、可能性調査業務の結果をふまえ平成29年度の計画を伺う。

答

都市計画課長

新庁舎移転に伴う市内一周バスのルート等の再編や、沖縄県が行う那覇市から糸満市までの

鉄道計画の誘導に向けての資料づくりを行います。

問

豊見城市も含め

た那覇糸満市間の支線は、（フイダー）LRTの考えか伺う。

答

都市計画課長

那覇市、豊見城

市を經由して糸満市までの支線について、LRTと云うことは今は答弁できません。今後検討し、どのようなものになるか調査していきたい。

答 学校教育部長
公園周辺の遊戯広場等は、現在占有利用できず。フィールド内は、他の利用者の安全、芝の問題等があります。ただ我々も子どもたちの部活についてはできるような方向で考えていきますので、教育委員会としては相談は乗りたい。

問

陸上競技場の改修が始まるまで生徒が使用したい時に場内や周辺を利用できるように取り組めないか伺う。

◎その他の質問
・豊崎小学校の土埃対策について。
・総合陸上競技場の改修について。

市民待望のパークゴルフ場がいよいよ長嶺城址へ



仲田政美 議員

問

市民の健康増進や娯楽施設拡充

市外及び県外からお見えになる観光客のためにも、パークゴルフ場建設について、その後の進捗状況を伺う。

答

都市施設課長

長嶺城址一帯の公園整備に平成29年度より基本構想や事務事業を開始していきたい。基本計画などでパークゴルフ場の施設設置など検討してまいりたい。

問

人生の新たな出発の一つに結婚があり、その門出の祝福や、赤ちゃんの出生を祝福し



老若男女みんなで楽しめるパークゴルフ

ド」を導入する考えは。

答

障がい・長寿課長

①条例の制定は、その目的、役割など総合的に計画を推進する必要があるので、今後検討してまいりたい。

記念する趣旨で、貸し出し用記念撮影ボードを作成する考えはないか伺う。

答

市民課長

婚姻するお二人や、生まれてきた赤ちゃんを祝福するともよいご提案だと思います。平成29年度から運用できるよう進めてまいりたい。

問

①手話を必要とする人が利用しやすいサービスの提供や働き生活しやすい環境整備

に「豊見城市手話言語条例」を制定する考えは。②難聴や内部障がいなど、外出時や緊急時に支援を求めやすくなるように「命を守るヘルプカー

問

自治会に属さない防犯灯の設置について市民や企業の協力を得る制度、事業の進捗状況を伺う。

答

協働のまち推進課長

今年度中に、企業協賛を活用した公共施設等へのLED照明灯の設置に関する協定の締結を行い、次年度から実施したい。

◎その他の質問

・産後ケア事業について。

新入学準備金の 入学前支給を



比嘉 綾 議員

就学援助制度について

問 新入学準備金の入学前支給を東京都八王子市で実施していますが、本市でも取り組む考えはないか伺う。

答

学校教育課長 新入学児童生徒学用品費の支給を入学前にすることは大変厳しいものと考えている。



誰もが住みやすい街づくりを

問

うるま市とか、他の市町村でも「前向きに検討する」という市町村は多いんですが、豊見城市は厳しいというところで、子どもの貧困対策でもあり、保護者の負担などを減らし、安心して入学ができるように豊見城市でも早急に実施すべきだと思いが検討をする考えはないのか伺う。

答

学校教育課長 現在、沖縄県の市町村ではまだ実施されていないので他市の動向も注視していきたいと考えている。慎重に検討を進めていきたい。

問

教育現場の中で認知症の理解を推進するよう、どう取り組んでいるのか

新オレンジプラン 市の実施状況について

答

障がい・長寿課長 平成27年度は長嶺小学校の3年生90名、平成28年度11月には沖縄県立南部農林高等学校生活デザイン科福祉コースの生徒の12名に対し、認知症サポーター養成講座を開催している。今後も市内小中学校を中心に、児童生徒が認知症の人を含む高齢者への理解を推進する取り組みに努めてまいります。

問

認知症の人、家族、誰もが参加できる「認知症カフェ」を早めに設置する考えがないか伺う。

答

障がい・長寿課長 今後は地域の施設、カフェ等において、どう設置できるか関係機関を含め検討していく。

◎その他の質問

・インフルエンザ対策について。
・子供医療費無料化について。

都市づくりについて (中心市街地活性化策は)



當銘清弘 議員

問

中心市街地は長い歴史の中で地域の文化や伝統を育み、各種の機能を培ってきた「まちの顔」である。中心市街地活性化は、21世紀の子孫に引き継ぐべき

答

都市計画課長 「まちの顔」拠点づくりは、上田交差点から名嘉地交差点間の県道

豊かな街を創造していくため、市街地の整備改善と商業などの活性化の一体的推進により、都市の再構築と地域経済の振興を図るものです。「まちの顔」拠点づくりについて伺う。



中心市街地活性化策は

問

本市に観光客が訪れる場合、観光バス等を地下駐車場に停めて、2〜3階でショッピングができるのか、食事を提供できる食堂等を備えた複合的なビルができるよう、役所、JA、商工会、観光協会等で話し合っていたきたい。そこで、JA豊見城支店とIT産業振興センターと土地の高度利用を図ることにより、商業等複合施設ビルの立地可能性はあるか伺う。

答

都市計画課長 IT産業振興センターとJA豊見城支店との一体的な土地利用を図ることで、土地利用における可能性が広がるものだと考えます。

◎その他の質問

・与根地区産業集積基盤整備事業について。
・県道東風平豊見城線沿線地区計画について。

乳幼児健診を もつとスムーズに！



大城敬理 議員

問 乳幼児健診対応スタッフの人数、受け入れ体制について伺う。

答 健康推進課長 委託契約に基づき基本とする職種や配置人数及び受診対象人数が決まっていますが、受診者の負担軽減を図るため、



待ち時間短縮で快適な乳幼児健診を！

問 乳幼児健診となると生後4カ月の子どもを抱いて、受付

追加で職員を配置していただきます。受診対象人数は午後実施する前期乳幼児健診と午前実施する後期乳幼児健診ともに約70人から80人で前期乳幼児健診は小児科医2人、保健師5人、看護師4人、栄養士4人、受付2人、母子保健推進員2人、フロアスタッフ1人で、委託契約に基づく基本とする人数18人より2人多い20人を配置、また後期乳幼児健診は小児科医2人、保健師5人、看護師4人、栄養士4人、受付2人、検査技師2人、母子保健推進員2人、フロアスタッフ1人で基本とする人数19人より3人多い22人を配置しています。

から診察が終わるまで、かなりの時間がかかりますが受付時間をずらして対応することは可能か伺う。

答 健康推進課長 待ち時間を短縮するために、受付時間をずらして案内するなど改善してまいります。

問 何月から実施できるか伺う。

答 健康推進課長 2月以降降検していきます。

問 市道27号線から県道7号線への右

折誘導の路面標示ができないか伺う。

答 道路課長 当該交差点内から、誘導標示が設置できるような状況ではないかと判断してまいります。

問 ◎その他の質問

・運転免許の自主返納について。

与根豊崎通行規制無くし 埋め立て時の約束果たせ



儀間盛昭 議員

与根から豊崎への公園内道路規制撤廃を

問 都市計画審議会
で「公園内道路なので一般道路ではない」。

豊崎の開発、エネルギーが与根地域に流れるためには道路が必要だと地域も強く要望して、最初は人道橋しかなかったが行政が頑張つて車が通れる道路に改善。都市計画審議会の中で、公園内道路でも通行できるようになる。中央公民館や社協



築13年で使用停止は困る整備急げ

の前の道路が公園内道路で24時間通行が可能だと。そういう道路を豊崎にはつくると議論された今、夜間は通れなく不便を感じている方々がいる。どうすれば24時間通行が可能になるのか。

答 経済建設部長

中央公民館は市道。豊崎海浜公園は園路を通る、園路でビーチ側とながる、人、バイク、自転車等であれば園内の全てのところを回ることができまので、管理が困難になる。現在通す計画はない。

市民負担なくして東屋の整備を取り組め

問 東屋は工場製品なので不良はないとの答弁ですが、13年で使えない状態、それは補

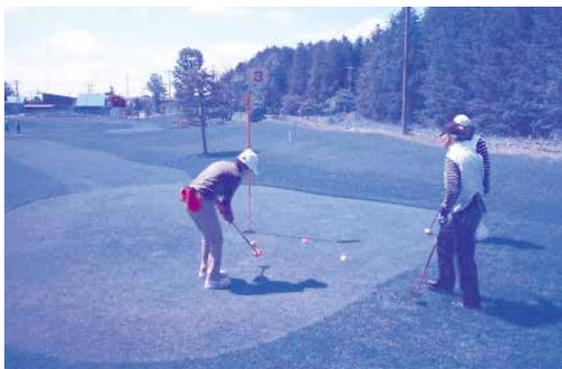
助事業を出す国との関係で問題ないか。短期間で壊れる物の導入が問われないか。補助金返還を求められないか。

答 経済建設部長

補助事業で築造したものを財産処分する際は、所管の担当課と協議して処分することになりますので、それはこれらの作業になります。

◎その他の質問

・11市中最も高い国保税の引き下げを。
・滑るとの苦情があるトミトン前の歩道整備を。
・国道工事と合わせた与根そば横の河川整備を。
・下原地域の河川を覆う雑木の管理対応を急げ。



人気急上昇のパークゴルフ！早期実現を！！

県内でトップクラスの パークゴルフ場を！！



徳元次人 議員

**36ホール以上の
パークゴルフ場建設を！！**

問 長嶺城址公園整備の一環でパークゴルフ場建設予定があるが、そのホール数は合計36ホールが望ましいと考えるが見解は。

答 都市施設課長 36ホールの施設設

置が十分可能かどうかは基本設計などで公園全体の施設配置の検討が必要であり、慎重な配置計画などが求められる。合わせて検討する。

問 スポーツツーリズム、観光開発という観点から年中できる沖縄県は非常に人気があるということなので全国大会レベルの施設として36ホールは必要と考えているが、もう一度伺う。

答 都市施設課長 公認コース設置基準、36ホールの施設も合わせて検討する。

問 市長も公約の一つとして掲げているので36ホール以上というの認識していると思う。36ホールを目指すと思

言してほしいが。

答 市長 36ホールなければ全国大会も誘致できないことも認識している。必ず実現できるように取組んでいきたい。

**税金を使わず
防犯灯設置を！！**

問 企業協賛防犯灯というのは出資してくれるスポンサー企業、維持管理する企業、ルールをつくる行政、この3者で成立する事業である。つまり税金を使わずして電力のないところにも防

犯灯が立てられる非常にいい事業。実施の時期を伺う。

答 協働のまち推進課長 今年度中には、企業協賛を活用した公共施設へのLED照明等の設置に関する協定の締結を行い、次年度から本格的に実施していきたい。

◎その他の質問
・マリーナ建設について。
・市民体育館について。

ママインターンプロジェクト で再就職を応援！



新垣亜矢子 議員

問 女性は職場復帰に対してハードルが高くなる。いろいろ悩みを持ったお母さんに応えるママインターンプロジェクトに取り組んでい

る自治体がある。妊娠・出産・子育て・介護などのために仕事から離れているが、社会復帰をしたと考えている女性に、一歩踏み出すきっかけを持ってもらう為のプログラム。本市でも積極的に取り入れ、女性の就労支援に繋げるべきと思うが見解を伺う。



不安を解消してやる気に変えるママインターン

育児プランナーが育児復帰支援プランを策定し、従業員の育児取得から職場復帰までを支援する内容となっている。当該事業の周知を進めるとともに、取り組み事例を調査、研究していきたい。

問 2千60年までの人口ビジョン目標数値7万人を目指しているなら、市内に1件しかない産婦人科・助産院を増やす必要があると思うが対策を伺う。

答 企画情報課長 妊産婦を支える体制整備については、関係課との調整を行うとともに、本市並びに圏域の取り巻く現状と課題を今後整備していきたい。

◎その他の質問
・母子健康包括支援センターについて。

ママインターンプロジェクトは現在4つの協力団体により実施され、社会復帰を望むママに対しカウンセリング実施後、トレーニングを行い、人材を求める支援企業とマッチングさせ、そのインターンを実施、その後、支援企業はマッチングが合えばインターン生を採用するという流れになっている。県内において取り組み実績は現在確認できていないが、同様な事業が厚生労働省にて行われ、育児復帰、経営支援のノウハウを持った

∞優先順位とは政治力∞ 未来へ繋ぐ子育て支援



新垣繁人 議員

子ども医療費助成の現物給付について

問 本市の医療費助成を現物給付にした場合に想定される影響額について伺う。

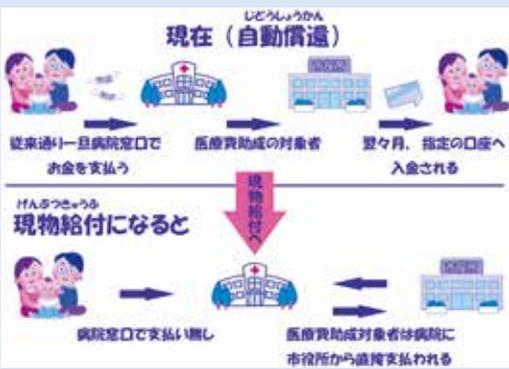
答 子育て支援課長 現物給付を採用した場合、医療機関窓口で一時払いの資金を用意する

する必要がなくなることから自動償還に移行したときと同規模と予想しており、0歳児から2歳児は1千98万2千906円増、3歳児から就学前は現在の自己負担額千円の場合330万6千527円増、自己負担額を廃止した場合573万4千869円の医療費が増加すると見込んでおります。

問

予算があれば豊見城市の0歳から就学前の子ども達が医療機関の窓口負担がなく医療を受けられるというところで手の届く数字と想っており給付方法を現物給付としていく考えがないか見解を伺う。

未来へ繋ぐ子育て支援∞ステージ1



答

市長 子どももを産み育てやすい豊見城市にするためには負担のない現物給付をすべきと考えて

おり県が現物給付制度を実施するのであれば国の動向も注視しながら取り組んでいきたい。

問

12誘導心電図伝送システムの効果について伺う。

答

消防長 病院での心臓カテーテル治療に約28分の時間短縮が図られる。

問

当、救命処置、救命医療へつなぐにも1分1秒を争う。本市の救急車全てに導入すべきと考

えるが見解を伺う。

問

豊崎護岸沿いの草が伸び放題、南部土木事務所に要請を。

答

道路課長 適切な維持管理を行うよう要請します。

問

◎その他の質問
・商工観光について。
・就労支援について。

予算は確保できた 漁港祭を市民で育てよう



大田正樹 議員

問

与根支部の皆さんから漁港活性化のため祭を行いたいとの声を受け、第一回与根漁港まつりが開催されました。多くのボランティア



多くの子ども達が稚魚放流を体験

祭の成果と課題を伺う。

問

農林水産課長 千500人余、稚魚放流体験者が250名いたことにより目的である「つくり育てる漁業」の考え方を周知する事ができ、鮮魚直売

答

農林水産課長 今後の展望は？

問

農林水産課長 今後所得向上に繋がるよう期待し、成果を伸ばし課題解決に努めるよう漁業者と話し合い可能な限り支援をしていきたい。

問

農林水産課長

漁業再生支援事業でH29年度は三年目を迎えます。次年度以降も予算確保に努めます。

問

ふるさと納税で漁業振興に寄付があったはずですが、これを元に祭り予算を増額し体験事業等に充てる事がで

問

農林水産課長

魅力向上②観光イベント事業③観光情報の充実や発信機能の向上④その他、観光振興にふさわしい事業と、なっていますので、交付要綱及び補助対象事業に合致する事業実施者は補助対象となります。

答

商工観光課長 ①観光資源の開発

地域環境を改善し、安心、安全な街を目指して



比嘉 彰 議員

交通安全対策について

問 市道40号線(豊見城団地から金良向け)と市道33号線(溝原から饒波向け)の交差点への信号機設置は可能か伺う。

答 協働のまち推進課長 饒波自治会より信号機設置の要望があります。

問 長嶺小学校のクーラー設置について

答 学校施設課長 当該教室については学校計画訪問の際に現地確認をしており、温度測定の結果、クーラー設置の優先度が高い教室であると考えている。現在、次年度の補助事業を活用した



安心な安全な明るい環境を

問 クーラー設置は可能か伺う。

答 協働のまち推進課長 議員ご質問の市道32号線沿いに防犯灯がない理由としては、電力柱が設置されておらず電力供給ができない状況にあることから設置されておりません。質問箇所への防犯灯設置につきま

しては、当該自治会及び小中学校と調整を図るとともに、現在進めている電力柱を必要としない企業協賛防犯灯の設置に向けて検討してまいりたいと考えております。

問 市道32号線、良園から金良向けの防犯灯の設置は可能か伺う。

答 協働のまち推進課長 議員ご質問の市道32号線沿いに防犯灯がない理由としては、電力柱が設置されておらず電力供給ができない状況にあることから設置されておりません。質問箇所への防犯灯設置につきま

問 各小中学校の教室温度測定の結果に基いたクーラーの設置状況、長嶺小の最高温度を記録した教室へのクーラー設置状況、上位20教室の温度と場所を伺う。

答 学校施設課長 クーラー設置状況は27年度伊良波小2教室とよみ小5教室、28年度ゆたか小6教室、伊良波小2教室です。長嶺小教室は次年度の補助事業を活用した予算要求を行っている。暑い教室上位20のうち長嶺小が11教室、次年度クーラー設置は6教室、3階の教室で屋上

授業に支障を来して全教室にクーラー設置を



佐事安夫 議員

問 各小中学校の教室温度測定の結果に基いたクーラーの設置状況、長嶺小の最高温度を記録した教室へのクーラー設置状況、上位20教室の温度と場所を伺う。

答 学校施設課長 クーラー設置状況は27年度伊良波小2教室とよみ小5教室、28年度ゆたか小6教室、伊良波小2教室です。長嶺小教室は次年度の補助事業を活用した予算要求を行っている。暑い教室上位20のうち長嶺小が11教室、次年度クーラー設置は6教室、3階の教室で屋上



クーラーが必要な長嶺小の三階

問 「住宅リフォーム成事業」は全国で603自治体、県内では10自治体が実施しています。南風原町の実態は、県は住宅リフォーム市町村助成支援事業を行っている。豊見城市で実施する考えはないか。

答 都市計画課長 実施市町村は、沖縄市、糸満市、宮古島市、南風原町、与那原町、北谷町、西原町、嘉手納町、伊江村、読谷村です。南風原町は26年度申請48件工事額、5千42万円、助成金額830万円うち国県の補助金148万円でした。国県の補助を導入しても財政上厳しいです。

スラブからの輻射熱の影響もあり優先的に整備したい。温度測定は7月4日から8日の5日間、平均値の結果は上位20教室の温度、35.2度から33.3度、場所は、長嶺小11教室、伊良波小4教室、豊見城中1教室、豊見城小3教室、座安小1教室です。クーラー設置の範囲は、温度のみに寄らず、授業に支障を来すおそれのある教室を優先的に整備しています。全教室へのクーラー設置は検討していません。当面は優先度の高い教室から整備します。

◎その他の質問
・子どもの貧困対策について。
・平和行政について。
・市道114号線の整備について。

損害賠償事件、与根地区 専有地無断貸与等質す



比嘉仁一 議員

損害賠償請求について

問 損害賠償請求の根拠は軽薄であり、何う。

答 財務課長 原告側の取引等には誠実な対応がかけられている。

問 損害賠償請求事件の市の今後の対応を何う。

答 財務課長 原告の請求棄却と訴訟費



市民によりそう市政を

用を原告負担とする判決を求める。

与根自治会専用の市有地について

問 自治会の専用権の概念について何う。

答 財政課長 専用権の概念は、自治会の目的、対象の使用である。

問 その専用権を、自治会長の了解で市は利用しているのか。

答 財政課長 自治会長に文書で投げて、その承諾で今貸している。

問 自治会長の同意書は存在するのかわ。

答 財政課長 与根自治会に確認している。

問 協定書の文面にあるのか何う。

答 総務部長 協定書の項目の中に、解釈での疑事は甲乙協議するとある。

問 与根自治会の同意が必要だと思わが。

答 総務部長 与根自治会の使用の状況があるのかを確認した上で他の個人団体に使用させている。

問 与根自治会から結構との了解があったのか。

答 副市長 私が自治会長を呼んで確認した。

問 市内の歴史的名所整備について

問 城跡等、歴史的名所は何カ所存在するか何う。

答 文化課長 豊見城グスク、保栄茂グスク、長嶺グスク、平良グスク、瀬長グスク、以上5カ所。

問 対応を何う。

答 文化課長 城址跡地利用基本計画に基づいて将来的な活用を見据えている。

問 観光や歴史的体点となる可能性がある、見解を何う。

答 文化課長 観光や歴史学習の拠点の可能性の要素は幅広く想定される。

市民が集え憩いと 学びある公園整備を……



外間 剛 議員

東部地区都市公園整備(長嶺城址跡)について

問 ①事業構想をどのように考えてい

答 文化課長 豊見城グスク、保栄茂グスク、長嶺グスク、平良グスク、瀬長グスク、以上5カ所。

問 対応を何う。

答 文化課長 城址跡地利用基本計画に基づいて将来的な活用を見据えている。

問 観光や歴史的体点となる可能性がある、見解を何う。

答 文化課長 観光や歴史学習の拠点の可能性の要素は幅広く想定される。

問 ②その施設規模(面積)を何う。

答 都市施設課長 ①長嶺城址整備事業案は、(ア)優れた自然景観との調和、地域共生の整備計画。将来像は地域

問 ③プレイパーク等の併設の考えはないか何う。

答 都市施設課長 ①長嶺城址整備事業案は、(ア)優れた自然景観との調和、地域共生の整備計画。将来像は地域

問 ④最大限利活用のかげがえのない環境。地域シンボルのグスクを核に眺望を生かす景観。環境配慮の小規模造成と施設配置。維持管理可能な近自然型植栽。健康、スポーツ等のニーズに即応する施設。利用しやすい散策動線と管理道路等、危機時利用の両立。



野育を考えた公園整備を

域シンボル。城址中心のユニバーサルエンドと管理道路等。パークゴルフ場や多目的広場に活用可能なサッカー広場。既存緑地等の保全、歴史文化、学習等。三つの基本理念を構想、将来像案として考えている。

②城址一帯の整備は、歴史的文化価値が高く、その保全活用を図り、都市基幹公園として休息、観賞、散歩、遊戯、運動等の総合的利用を目的とした公園整備を109ha行う予定。

③子供達が自然に近い広場を使い、想像力を工夫し、遊びをつくる場の設置を望む市民の声が多く、関係部署等との調整を重ねている。文化財の存在と急傾斜地等の理由から十分な基本構想と計画が必要でプレイパークの設置、公園全体の施設配置と合わせた計画を検討して行く考え。

保育行政について



赤嶺勝正 議員

問 今年度の待機児童解消について、計画どおり進んでいるか伺います。

答 福祉部長 本市では、子ども・子育て支援事業計画（H27～H31）を策定し、保育の量的な拡大による待機児童問題の解消や地域

の子ども・子育て支援の充実を推進しています。さらに認可外保育所の中から市が認証を行うなど、保育の量的な拡大による待機児童解消に取り組んでいます。今後とも平成30年度までに待機児童解消を目指し、必要な整備を図ります。

問 待機児童解消を図る為、年度中でも設備整備や保育士の確保に取り組む考えについて伺います。

答 福祉部長 平成30年度の待機児童解消を考えた場合、スケジュール的に間に合わないの、認可保育施設の増築1園、分園整備2園、事業所内保育施設整備3園の補正予算を計上し、平成30年度までにさらに約250名の量の確保となります。



待機児童解消

さらに総合的な施策の実施で待機児童解消を図っていきます。また、保育士確保策として、保育体制強化事業や保育補助者雇い上げ強化事業、保育士ベースアップ支援事業を推進し、保育士の処遇改善を図ります。さらに認定こども園についての検討も行っていきます。

・道路行政について。
・市道257号線の進捗状況について。
・市道22号線今後の計画について。
・都市計画マスタープランについて。
・保安林の管理について。
・不法投棄問題について。

◎その他の質問
・指定管理（コミュニティ）について。

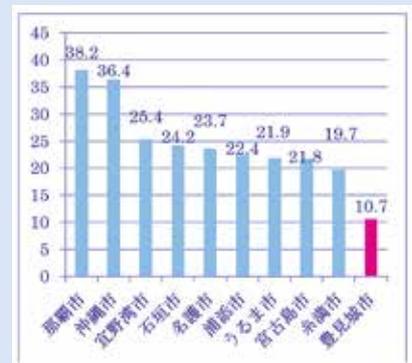
就学援助率・生活保護率が低すぎる豊見城市！



瀬長 宏 議員

問 県内11市の平均保護率と本市の保護率について伺います。
答 社会福祉課長 市部計が27・79パーミル、本市の保護率は10・75パーミルとなっています。

問 市長、低すぎると思うんですが、どういう認識なのでしょうか。
答 社会福祉課長 妥当な保護率と考えています。
問 申請書さえももらえなかったとか苦情を聞きます。申請から何日で要否が決定されるか。
答 社会福祉課長 法で定められてお



生活保護率比較表

問 今の話では誤解をします。法定期限は14日、特別な理由があれば30日まで延ばして可能で平均どれぐらいで決定通知を出していますか。
答 社会福祉課長 統計をとっていません。
問 窓口で平均30日ぐらいいました。特別な理由がない限り、30日という長いスパンで作業をするのは法の趣旨から反します。ケースワーカーが少ないのではと気になります。国の基準は

り、30日以内には通知をしています。
答 副市長 検討していきますと思います。
問 却下が多すぎる就学援助
答 学校教育部長 県内平均及び本市の援助率を伺います。
問 申請数と認定数はどうなっているか。
答 学校教育部長 平成27年度の申請人数は988人で認定数は923人となっており、今年度は12月時点の申請人数1千73人で、認定数は886人となっています。

満たしているのでしょうか。
答 社会福祉課長 今手元に資料がありません。
問 ケースワーカーは6名です。市は493世帯ということで7名配置すべきと思うんですが、増やす考えはないですか。
答 副市長 検討して

地域住民、自治会と連繋し生活道路の整備を実施



宜保安孝 議員

問 自治会を通して陳情していた上田180番地周辺の生活道路整備の進捗について伺う。

答 経済建設部長

今年度8月に工事を発注し、11月までに周辺の道路整備を実施している。



とても綺麗で快適な道路になりました!!

答 振興開発課長
平成27年3月定例会にて宜保安孝議員より質問と提案があり、沖縄県ウインドサーフィン連盟の関係者の意見も伺い、検討した結果シャワー施設が必要と考え、整備を実施しています。

問 上田山川地域の生活道路整備の進捗について伺う。

答 経済建設部長

1月上旬までに完成する予定。地域住民及び自治会長より、交通安全性や生活環境面の改善ができたことに対して大変喜んでいてという声がある。

問 トイレ整備とともにシャワー施設の整備を求めています。その概要について伺う。

答 振興開発課長
平成27年3月定例会にて宜保安孝議員より質問と提案があり、沖縄県ウインドサーフィン連盟の関係者の意見も伺い、検討した結果シャワー施設が必要と考え、整備を実施しています。

問 駐車場整備の概要について伺う。

答 振興開発課長

1月中旬の完成予定となっております。駐車場台数は合計で93台、内訳としては普通車83台、軽自動車4台、身障者用2台、大型バス4台となっております。

問 野球場東側の砂利敷き部分も整備できないか。

答 振興開発課長
当該地も駐車場として、今年度整備することとなっております。駐車場台数は39台の予定です。

◎その他の質問
・飼いのいない野良猫や家猫による生活被害対策について。
・無償による不妊去勢手術の普及推進への取り組みについて。
・地域の猫問題に関する啓発活動について。

市民が潤う経済政策と産業構造の構築を



大田善裕 議員

問 流出就業者の状況について伺う。

答 企画情報課長
平成22年度国勢調査の結果、平成22年10月1日現在の本市の

流出就業者の状況について伺う。

15歳以上の就業者数は2万4千666人で、そのうち市外へ通勤している就業者は1万6千65人となっており、就業者総数に占める市外就業者の割合は65.1%となっております。

問 地域雇用の創出について、市の見解と今後の対策を伺う。

答 商工観光課長
地域雇用の創出については市民所得の安定

と向上、さらには地域経済の活性化にも寄与することから、積極的に取り組む必要があると考えます。雇用の受け皿対策として、豊崎エリアにおける企業誘致においてもこれまで55社の企業立地があり、平成27年度3月時点における雇用動向調査により、正規、非正規合わせて3千257人の雇用が生まれ、企業誘致においても一定の成果があったものと考えています。今後は豊崎の観光関連用地におけるホテルや複合商業施設等の計画もあることから、更なる雇

用創出が生まれるものと予想しており、本市としても市内在住者の積極的雇用の働きかけを行うとともに、企業ニーズに即した人材育成等を実施するなど地域雇用創出に取り組みます。



西海岸へ製造業の産業集積を行い地域雇用創出を

問 国際物流特区にあわせて製造業の集積に尽力する考えはあるか伺う。

答 市長
西海岸地域の整備については、シーサイド、埋立地の市街化の見直しをしっかりと行い、その際には物流業だけでなく、製造業も誘致したいと考えています。

環境基準を大幅に 超過し続ける航空機騒音



赤嶺吉信 議員

航空機騒音について

問 与根局における測定数値が環境基準を大幅に超過し、地域住民の生活環境に大きく影響を与えていることから以下について①市は航空機騒音の軽減に関し、国・県へどのような働きかけを行っているか伺う。

②航空機騒音測定結果の中で環境基準を超過した日数の割合は、与根局で84.7%（365日中309日）という結果が出ています。市はこの状況を捉えどう改善しようとしているのかを伺う。

生活環境課長

①について大阪航空局長及び航空自衛隊那覇基地司令に対し、運用及び飛行方法の見直し等により環境基準以下を満たす騒音対策をするよう要請を行っております。県に対しては、与根地区での測定結果を踏まえ、地元の声を伝えるとともに、県側からも国側へ騒音軽減を要請をしています。



西海岸地区開発に重要な上下水道整備

②について航空局長及び航空自衛隊那覇基地司令に対し、滑走路の沖合展開や現状に見

合った補助制度を見直すよう今後とも要請を行い、騒音被害を受ける地域に対し、防音工事等を行い騒音対策を実施していきます。

問

騒音の著しい地区の世帯数により譲与の内容について伺う。

答

財政課長 沖縄県に確認したところ、本市への譲与税の配分は着陸料収入割のみを本市と那覇市に、所在する空港の面積によりあん分し算出した譲与額として配

分されています。◎その他の質問

・環境行政について。
・病院の移転地を含めた志茂田原地域の下水道整備計画について。
・与根地区に移転する中央病院から排出される排水対策について。

災害に強い まちづくりについて



赤嶺一富 議員

問

市道175号線豊見城ニュータウン地区の現在の進捗状況について伺う。

答

道路課長 平成28年4月から平成28年7月の工期により事業

費約1千711万円、施工範囲約350平方メートルのり面工事及び磁気探査業務を完了しており、進捗率は54.0%です。今後の計画につきましては、平成28年10月に沖縄県に対し、補正予算の交付申請を行っており、交付決定後、事業費約6千400万円、施工範囲約1千650平方メートルのり面工事及び磁

問

公園・緑地の整備についてパークゴルフ場の整備を含む長嶺グスク跡地の総合公園について伺う。

答

都市施設課長 東部地区公園整備計画の事業化については、文化財、急傾斜地ということから十分な基本構想と基本計画が必要であると考えています。長嶺城址一帯の公園整備、総合的な利用に供することを



H29年5月事業全体完了 豊見城ニュータウン地区

目的とした都市公園事業の総合公園、面積約10.9ヘクタールとして整備を行う予定です。実施する基本計画などの中で、公認コース設置基準に沿った計画を指しながら、36ホール配置計画及び公園全体の施設計画などもあわせ、総合的な施設計画を検討していきます。今後は、長嶺城址公園の国庫補助事業等採択に向けた基本計画などでパークゴルフ場の施設設置、公園全体の施設配置などもあわせた施設計画を検討していきたいと考えています。

平成28年 第6回豊見城市議会臨時会(11月議会) 審議結果

議案番号	《予算案》 件 名	経 過	結 果
議案第73号	平成28年度豊見城市一般会計補正予算(第3号)	即 決	原案可決
議案第74号	平成28年度豊見城市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	即 決	原案可決
議案第75号	平成28年度豊見城市土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	即 決	原案可決
議案第76号	平成28年度豊見城市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	即 決	原案可決
議案第77号	平成28年度豊見城市水道事業会計補正予算(第3号)	即 決	原案可決

議案番号	《条例案》 件 名	経 過	結 果
議案第78号	豊見城市一般職員の給与に関する条例及び豊見城市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	即 決	原案可決
議案第79号	常勤特別職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	即 決	原案可決

議案番号	《その他議案》 件 名	経 過	結 果
議案第80号	上田幼稚園・小学校改築工事 南棟(建築)の請負契約について	即 決	可 決
議案第81号	上田幼稚園・小学校改築工事 中棟(建築)の請負契約について	即 決	可 決

議案番号	《報告》 件 名	結 果
報告第8号	専決処分の報告について(上田小学校屋内運動場改築工事(建築)請負変更契約)	報 告

平成28年 第7回豊見城市議会定例会(12月議会) 審議結果

議案番号	《決算・予算案》 件 名	経 過	結 果
認定第1号	平成27年度豊見城市一般会計歳入歳出決算	総務財政委員会付託	認 定
認定第2号	平成27年度豊見城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	教育民生委員会付託	認 定
認定第3号	平成27年度豊見城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	教育民生委員会付託	認 定
認定第4号	平成27年度豊見城市下水道事業特別会計歳入歳出決算	経済建設委員会付託	認 定
認定第5号	平成27年度豊見城市育英会特別会計歳入歳出決算	教育民生委員会付託	認 定
認定第6号	平成27年度豊見城市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	経済建設委員会付託	認 定
認定第7号	平成27年度豊見城市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	経済建設委員会付託	認 定
議案第82号	平成28年度豊見城市一般会計補正予算(第4号)	総務財政委員会付託	原案可決
議案第83号	平成28年度豊見城市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	教育民生委員会付託	原案可決
議案第84号	平成28年度豊見城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	即 決	原案可決
議案第85号	平成28年度豊見城市土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	即 決	原案可決
議案第86号	平成28年度豊見城市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	経済建設委員会付託	原案可決
議案第87号	平成28年度豊見城市水道事業会計補正予算(第4号)	経済建設委員会付託	原案可決

議案番号	《条例案》件名	経過	結果
議案第88号	豊見城市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	即決	原案可決
議案第89号	豊見城市税条例の一部改正について	即決	原案可決
議案第90号	豊見城市国民健康保険税条例の一部改正について	即決	原案可決
議案第91号	豊見城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	即決	原案可決
議案第92号	豊見城市立幼稚園保育料徴収条例及び豊見城市立幼稚園預かり保育料徴収条例の一部改正について	即決	原案可決
議案第93号	豊見城市豊見城地区地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の制定について	経済建設委員会付託	原案可決
議案第97号	豊見城市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	即決	原案可決
議案第98号	豊見城市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	即決	原案可決
議員提案第1号	豊見城市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	即決	原案可決

議案番号	《その他議案》件名	経過	結果
議案第94号	指定管理者の指定について	即決	可決
議案第95号	指定管理者の指定について	即決	可決
議案第96号	指定管理者の指定について	即決	可決

議案番号	《報告》件名	結果
報告第9号	専決処分の報告について	報告
—	議会改革調査特別委員会の中間報告について	報告

議案番号	《請願・陳情》件名	経過	結果
陳情第4号	離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書について	教育民生委員会付託	採択
陳情第5号	「ニッポン一億総活躍プラン」を実践するシルバー人材センターへの支援要望について	総務財政委員会付託	採択
陳情第7号	豊見城城址公園内の河川改修について(要請)	経済建設委員会付託	採択
陳情第9号	「要介護1・2」の「一部保険給付からの除外」を中止し、安心、安全の介護保障を国の責任で実現するよう求める陳情書	教育民生委員会付託	採択
陳情第10号	介護保険制度の見直しに対する陳情書	教育民生委員会付託	採択
陳情第11号	「無料低額診療事業の保険薬局への拡充を政府に求める意見書」提出を求める陳情書	教育民生委員会付託	採択
陳情第12号	貧困をなくし、子どもの未来を保障する対策を求める陳情書	教育民生委員会付託	採択
陳情第13号	子どもの医療費助成への「罰則」廃止と、国の制度化を求める陳情書	教育民生委員会付託	採択

議案番号	《意見書・決議》件名	経過	結果
意見書案第4号	沖縄県の市町村国保に対する財政支援を求める意見書	即決	原案可決
意見書案第5号	別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備に関する意見書	即決	原案可決
意見書案第6号	「要介護1・2」の「一部保険給付からの除外」を中止し、安心・安全の介護保障を求める意見書	即決	原案可決
意見書案第7号	介護保険制度の見直しに対する意見書	即決	原案可決
意見書案第8号	無料低額診療事業者等の保険薬局への拡充を政府に求める意見書	即決	原案可決
意見書案第9号	貧困をなくし、子どもの未来を保障する対策を求める意見書	即決	原案可決
意見書案第10号	子どもの医療費助成への「罰則」廃止と、国の制度化を求める意見書	即決	原案可決
意見書案第11号	オスプレイの重大事故・飛行再開に関する意見書	即決	原案可決
決議案第3号	オスプレイの重大事故・飛行再開に関する抗議決議	即決	原案可決
決議案第4号	沖縄県認可外保育園連絡協議会の「政策提言」実現と本市の保育環境の更なる充実を求める決議	即決	原案可決

12月定例会で可決された意見書・決議

○意見書

- ・沖縄県の市町村国保に対する財政支援を求める意見書
- ・別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備に関する意見書
- ・「要介護1・2」の「一部保険給付からの除外」を中止し、安心・安全の介護保障を求める意見書
- ・介護保険制度の見直しに対する意見書
- ・無料低額診療事業者等の保険薬局への拡充を政府に求める意見書
- ・貧困をなくし、子どもの未来を保障する対策を求める意見書
- ・子どもの医療費助成への「罰則」廃止と、国の制度化を求める意見書
- ・オスプレイの重大事故・飛行再開に関する意見書

○決議

- ・オスプレイの重大事故・飛行再開に関する抗議決議
- ・沖縄県認可外保育園連絡協議会の「政策提言」実現と本市の保育環境の更なる充実を求める決議

オスプレイの重大事故・飛行再開に関する抗議意見書

2016年12月13日午後9時半ごろ、沖縄県名護市安部沿岸の浅瀬岩礁上に普天間飛行場所属の米軍垂直離着陸機MV オスプレイが不時着し機体がバラバラに大破する重大な事故が起きました。

翌日、米軍当局の発表によると、沖縄から約30キロ離れた海上上空で、複数のオスプレイとCH-53ヘリコプターが、空中給油訓練中、給油機から伸びた給油ホースを切断し、オスプレイのローターブレードに損傷を与えた。パイロットは危険なほど振動をし始めていた機体を普天間飛行場に戻すことをあきらめ、キャンプシュワブ方面に向かう途中の浅瀬に不時着させたと説明された。

幸いにも、米兵乗員5名は救助され命に別状はないとの事だが、周辺海岸では漁業を行う県民もおり、一つ間違えば大惨事にもなりかねない重大な事故であり大変遺憾である。

米軍の航空機事故は幾度となく発生しており、豊見城市議会はその他航空機による事故も含めその都度、米軍や関係機関に厳重に抗議し、事故の再発防止や航空機の安全管理の徹底等を要請してきたところである。

それにもかかわらず、またしてもこのような事故が発生したことはまことに遺憾であり、米軍における再発防止の取り組み、航空機の整備体制及び訓練にあたっての安全管理のあり方等に強い疑問を抱かざるを得ない。

さらに事故から6日後に機体に問題はないとして飛行再開したことは、県民の不安を高めるばかりで、決して容認することは出来ない。

よって、豊見城市議会は、県民の生命・財産を守る立場から、今回の事故に対し、厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに措置されるよう強く要請する。

記

- 1 県民の不安を払しょくすべく、オスプレイの飛行再開を中止し、事故原因を徹底的に究明すること。そして結果を速やかに分かりやすく丁寧に県民に明らかにすること。
- 2 基地の整理・縮小の一環として広大な訓練水域・空域の見直しを行い、普天間飛行場の閉鎖・返還を早期に実現すること。
- 3 日米地位協定の抜本的な改定を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月21日
沖縄県豊見城市議会

宛先： 内閣総理大臣 内閣官房長官 外務大臣 防衛大臣 沖縄防衛局長

ハイサイ、グスーヨーチュウウガ
ナビラ
今年には寒暖差が激しい月日が多く
ありましたが、お身体は大丈夫でし
たか。那覇南部では、インフルエン
ザやノロウイルスが流行りました
が、日頃から、うがい手洗いなど予
防に取り組み健康対策を行っていき
ましょう。
さて、早いもので二〇一五年2月
に当選した我々19期議員も任期4年
の折り返しの年を迎えました。
毎日が物凄いスピード感で進んで
いますが、市に関する多くの情報を
一つでも市民に伝えることが「議会
だより」の役割だと考えています。
議会だよりは、委員7名と事務局
職員1名が様々な角度から紙面の構
成や誤字脱字などをチェックし、発
行前に3回〜4回の編集作業を行っ
た後に市民の皆様へお届けしていま
すが、その議会だよりも、次回178号
以降より紙面を刷新する検討が進ん
でおりますのでどうぞご期待くださ
い。
また市役所3階の本会議場で開会
されている3月、6月、9月、12月
の定例議会傍聴にも足をお運びいた
だき、市政への取り組みを共有して
いきたいと思っております。

山川
仁

編集
後記



議会改革

議員定数を2名削減!

議員提案により平成28年第7回定例会で可決!!

議員定数が24名から22名になります。

この条例は、次の一般選挙から適用されます。

議会改革調査特別委員会の主な経過【開催回数：26回】

平成27年3月	議会改革調査特別委員会を設置 調査事項7項目について、調査研究・議論を進める。(7項目に「議員定数」も含む。)
平成28年3月	豊見城市議会改革に関する市民アンケートを実施する。2,000名に送付し、520名が回答。(アンケート項目に「議員定数」も含む。)
平成28年10月	「豊見城市議会改革に関する市民アンケート」について、タウンミーティングを開催し、調査結果報告を行う。
平成28年12月	12月定例会において、議会改革調査特別委員会の中間報告が行われる。議員提案により『豊見城市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について』の議案が提出され、議員定数2名削減について賛成多数で可決。

討論要約 (一部抜粋)

反対

- ▷7万市民を目指すなら、議員定数は維持させた方が良い。
- ▷市民の声をしっかり取り上げ、市政へ反映させるには、市民と議員の距離があってはならない。
- ▷研究会では、「定数削減は、市政を一層遠い存在にする」と報告されている。
- ▷多様な意見を議会、行政に反映できるような仕組みをつくる上では、定数削減は時代にそぐわない。

賛成

- ▷議員の質を上げることで、22名体制でも7万市民を見ることはできる。
- ▷議員定数と議員報酬はセットで審議する必要があり、他自治体の状況を踏まえ、議員も身を切ることが望ましい。
- ▷定数削減に関する議会の意思を示さないことは、本市議会の良識が問われる。
- ▷全国の市議会の定数平均は、人口5～10万人未満21.9名。定数22名は納得である。

★ 討論の詳細については、豊見城市議会 HP の会議録検索システムより閲覧できます。

豊見城市議会

検索